

# 10気圧防水ウォッチ

取扱説明書



## 取扱説明書

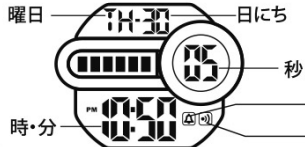
操作ボタン位置参照図



### 機能

- 時計
- カレンダー  
(曜日・日・月・西暦表示)
- ELライト
- ストップウォッチ機能
- アラーム ■時報
- デュアルタイム(第2時刻表示)

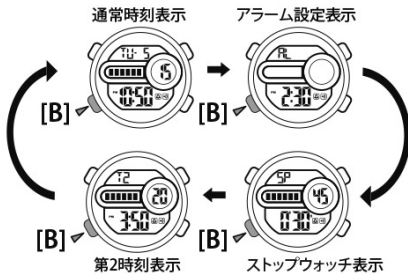
### 通常時刻表示



- 🔔 時報マーク
- 🔊 アラームマーク

## 各モードへの切り替えについて

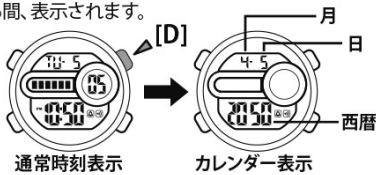
通常時刻表示から[B]ボタンを押すごとに下図の順に設定表示が切り替わります。



## 1 通常時刻表示

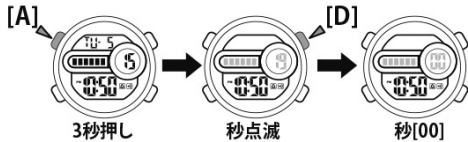
### カレンダーの見方

通常時刻表示の時は[曜日]と[日付]を表示しています。  
[D]ボタンを押すと[西暦]と[月・日]が表示されます。  
[D]ボタンを押し続けている間、表示されます。  
離すと通常時刻表示に戻ります。

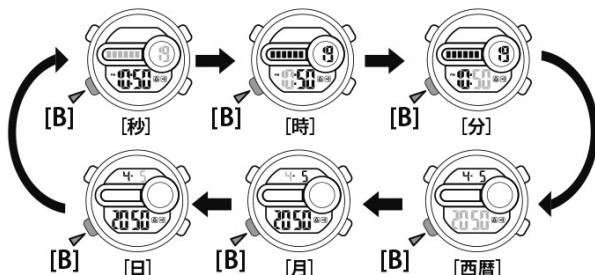


### 時刻設定の変更のしかた

- ① 通常時刻表示の状態で[A]ボタンを約3秒間押します。  
[曜日]と[日付]が消え、[秒]が点滅します。  
[D]ボタンを押すと「秒」が[00]に戻ります。



- ② [B]ボタンを押すごとに、[秒]→[時]→[分]→[西暦]→[月]→[日]の順に点滅が切り替わります。



- ③ 点滅時に[D]ボタンを押して設定を変更します。  
[D]ボタンを押すと進みます。  
※長押しすると早送りできます。
- ④ ②・③の手順で、設定をする部分を点滅させて変更します。
- ⑤ 西暦は2000年～2099年まで設定できます。  
曜日は自動設定です。西暦・月・日の設定に合わせて自動で切り替わります。  
※うるう年も自動で切り替わります。
- ⑥ [A]ボタンを押して設定を終了します。

※注意:点滅時に約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了して通常時刻表示に戻ります。この時、途中まで設定を変更していた場合は、その変更を確定して時刻設定を終了します。

- ⑦ 通常時刻表示の状態が午後(正午以降)の場合、[A]ボタンを押すと「PM」が表示され、「12時間表示」になります。  
もう一度[A]ボタンを押すと「PM」が消え「24時間表示」になります。  
※「AM」は表示されませんので、午前中は「12・24時間表示」どちらでも表示は変わりません。

## 2 アラームと時報機能

毎日、設定時刻にアラームが鳴ります。  
アラーム音は、[A][B][D]いずれかのボタンを押すと止まります。  
[C]ボタンを押しても止まりません。

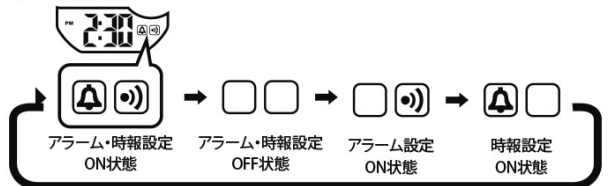
※アラーム音は約60秒間鳴ります。

### アラーム時刻設定

- ① 通常時刻表示から[B]ボタンを押してアラーム設定表示にします。
- ② [A]ボタンを押すと[時]が点滅を開始します。  
[D]ボタンを押すと「時」が進みます。  
※長押しすると早送りできます。
- ③ 次に[B]ボタンを押すと[分]が点滅を開始します。  
[D]ボタンを押すと「分」が進みます。  
※長押しすると早送りできます。
- ④ ③④で時間を設定したら、最後に再度[A]ボタンを押して設定を確定させます。

### アラーム入・切 (ON/OFF)

アラーム設定表示で(点滅していない時)[D]ボタンを押すとアラームと時報のON/OFF(設定/解除)ができます。  
[D]ボタンを押すごとに下図の順で設定が切り替わります。  
アラームを入(ON)にする時は、アラームマークを表示させます。  
アラームを切(OFF)にする時は、アラームマークを消します。  
また、②のアラーム時刻設定の操作をした際に、自動的にアラームが入(ON)設定になります。



※注意:点滅時に約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了して通常時刻表示に戻ります。この時、途中まで設定を変更していた場合は、その変更を確定して終了します。

### 時報設定の入・切

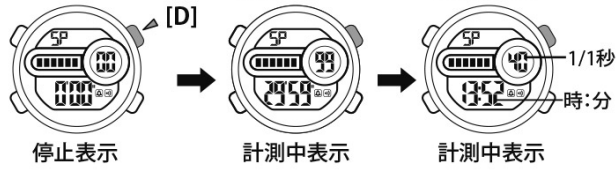
※時報の時間は、設定変更できません。

時報は毎時正時にチャイム音が鳴ります。  
時報のON/OFFの設定はアラームON/OFFに連動しているため、上図に従って設定を行ってください。

- ① 通常時刻表示から[B]ボタンを押してアラーム設定モードにします。
- ② [D]ボタンを押して設定の入/切(ON/OFF)を行います。

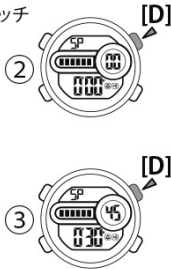
### 3 ストップウォッチ機能

#### 計測表示の見方



#### 基本操作

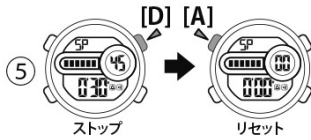
- 通常時刻表示から[B] ボタンを2回押してストップウォッチ表示にします。
- [D] ボタンを押してスタートします。
- [D] ボタンを押してストップします。
- 再度[D] ボタンを押すと計測を再開します。



最大計測時間：23時間59分59秒

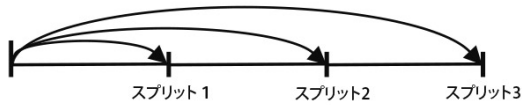
※最大計測時間に達すると自動で計測を停止します。

- [D] ボタンを押してストップした状態で[A] ボタンを押すとリセットされます。

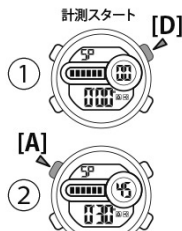


#### スプリットタイム(SPL)計測

\*スプリットタイム計測はスタートから各区間までの積算時間(合計時間)を計測します。



- [D] ボタンを押してスタートします。
- [A] ボタンを押すと画面にはスタートからその時点までのスプリットタイムが表示されます。
- 再度[A] ボタンを押すと、積算時間の表示に戻ります。操作②③を繰り返し積算時間を計測します。
- 計測を終了する場合は、最後の計測記録を[D] ボタンを押してストップしてください。



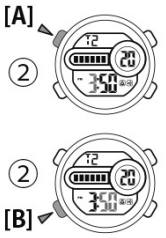
※注意：[B] ボタンを押し、通常時刻表示やアラーム設定表示などに切り替えても、ストップウォッチ表示でストップしない限り、または最大計測時間に達しない限り、計測は継続します。

### 4 デュアルタイム表示機能

通常時刻表示とは別に第2時刻を表示することができます。(デュアルタイム)

#### 第2時刻の時間設定

- 通常時刻表示から[B] ボタンを3回押して第2時刻表示にします。
- [A] ボタンを押すと[時]が点滅し、[B] ボタンを押すと[分]が点滅します。
- 点滅時に[D] ボタンを押して設定を変更してください。[D] ボタンを押すと進みます。  
※「分」の設定は30分単位でのみ変更できます。
- [A] ボタンを押して設定を終了します。



※長押しすると早送りできます。

※注意：第2時刻は、アラーム設定時刻と連動していません。アラーム設定時刻になっても、アラーム音は鳴りません。

※注意：第2時刻表示の時は、[曜日]と[日付]は表示されません。また、[D] ボタンを押してもカレンダーは表示されません。

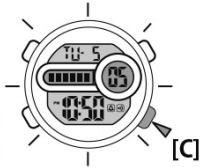
※注意：約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了して通常時刻表示に戻ります。途中で設定を変更していた場合は、その変更を確定して終了します。

#### ELライト

[C] ボタンを押すとELライトが約3秒間光ります。

※注意：ELライトは電気を多量に消耗します。多用されると電池寿命が短くなります。必要最小限のご使用をお薦めします。

※注意：電池の電圧が低くなると電圧不十分で作動しなくなります。ELライト点灯時に液晶表示が薄くなったり表示が点滅したりします。故障ではありませんが、お早めに電池交換をしてください。



#### 製品仕様

- 平均月差±60秒以内(適正使用温度範囲5℃~35℃の場合)
- 使用温度範囲：5℃~35℃
- 電池寿命：新品電池を入れてから約1.5年(1日にELライト2回/アラーム1回使用目安)

※本製品は工場にて新品電池を組み込んでおりますが、お買上げいただくまでの期間も作動し続けているため、お買上げ後、規格外寿命に満たない内に電池容量が切れることがあります。

- 使用電池：リチウム電池 CR2025 x 1個
- 製造国：中国

#### 防水機能について

■本製品は10気圧防水です。

※注意：激しい水圧が掛かると水が入り故障の原因になる場合があります。

10気圧防水	一時的にかかる水滴(洗面・雨など)	水仕事	水泳	ダイビング
	○	○	×	×



#### ボタン操作のご注意

水中、または水に濡れた状態でのボタン操作は、時計内部に水が入り故障の原因となることがあります。手やボタン部分が濡れていないことを確認してからボタン操作を行ってください。